

令和3年度第2回太宰府市立図書館協議会 会議録

日時 令和4年3月23日(水) 18:00~19:04

場所 プラム・カルコア太宰府 研修室1

出席者 【委員】 時里会長、穂坂副会長、八尋委員、原委員、江口委員

【事務局】 文化学習課：花田課長、岡本係長、廣見

市民図書館：今村館長、近本司書

傍聴人 なし

○事務局

本日の令和3年度第2回太宰府市立図書館協議会につきましては、過半数の委員に出席いただいておりますので、太宰府市立図書館協議会規則第4条第2項の規定により、協議会は成立しております。

(協議会開会)

会長あいさつ

協議事項

(1) 令和3年度事業進捗状況について

○事務局

資料1をご覧ください。今回は11月から2月末までを加えた報告となっております。

こどもを対象とするおはなし会等は1月から3月までは新型コロナウイルスのため中止となっておりますが、3月6日のまん延防止等重点措置の解除により再開されています。また、12月より図書館ボランティア活動も2時間以内とか人数制限や予防対策をしながら一部再開されました。少人数ですが活動されている方もいます。3月17日の図書館ボランティア交流会においては6名の参加があり、3年ぶりの開催ということもあり、職員一同嬉しく思っています。以上です。

○時里会長

皆さんのほうから、ご意見・ご質問などありましたらお願いいたします。

○時里会長

前回は、コロナの状況なので延期、あるいは中止の催しが多かった。3月17日に久しぶりにおやりになったのですね？

○事務局

まん延防止等重点措置の間はおはなし会だけ中止にしておりまして、一般の方の講座についてはやっております。先ほどは言いませんでしたが、2枚目の「文庫育成講座」とか、1枚目の「ちょっと！この本読んでみて!!～読書会カフェ～」とか「朗読紫苑の会」とかはおこないました。

○時里会長

これは2月末までの資料ですものね。3月は通常通り？

○事務局

今回のオミクロン株が若年層に流行ったということもあり、子ども向けのおはなし会については控えようということになり、おはなし会だけ中止にしております。

○時里会長

小学校とか流行っていますからね。柔軟におこなってください。ほかにございませんか。後々でも構いませんので、お気づきの点があればご意見いただきたいと思っております。次に協議事項の2. 令和4年度予算及び事業計画について、事務局からご説明をお願いします。

○事務局

資料2の令和4年度歳入予算（案）からご説明いたします。こちらは太宰府市の予算になります。昨年度から大きく変わったところをご説明いたします。まず1番上にかいてあります、総務管理費補助金ということで新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、こちらが当初からの歳入ということについております。その分、市の一般財源の予算が削減されておりまして、市の持ち出しが少し減っております。歳入に関しては以上です。

次のページ、歳出予算（案）になります。大きな変更だけをご説明させていただきます。まず11番の需用費の消耗品、こちらが昨年度に比べて10万7千円増額しております。図書館の裏側にある本の整理棚の棚板がかなり不足しておりまして、そちらの棚板を買うようにしております。13番の委託料の施設管理委託料が増加しておりますけれども、これは図書館システムを令和5年度より新しく学校図書館のシステムと連携するための構築費用として予定しているものです。その間、一年間、現在使用している図書館システムを延長して使用しますので、14番使用料及び賃借料の上から2つ目「電算機等賃借料」が若干下がっております。18番備品購入費について、図書が200万昨年度より増額しておりますが、これはコロナ交付金により図書館パワーアップ事業ということで予算がついております。この歳出予算には載っていないのですが、補正予算案が昨日可決されまして、図書館のトイレの御手洗い、今は手捻りの水栓なのですが、なるべく手で触れなくてすむように、手をかざすだけで水が流れる自動水栓に変えます。その工事費分が昨日の補正予算についておりますので、併せてご報告いたします。市の予算については以上になります。

3ページは、昨年度、図書館協議会で「財団の予算はどうか」とお尋ねがありましたので、財団の支出の部を載せております。財団の支出で一番大きなものは給料手当・賃金・福利厚生費・旅費交通費、こちらが17人の司書と2人の運転手にかかる費用で、これが総支出の約84%を占めています。昨年度も「ほとんど人件費です」と言ったのはこういう意味です。あと、通信運搬費は図書館の4回線の電話と移動図書館車の携帯電話、インターネット使用料や郵送料になります。消耗品費は図書館で印刷する広報誌や図書の装備に必要なもの、事務用品費です。修繕費が増えているのは、移動図書館車のタイヤを6本計上したためです。計上する時点ではタイヤがどれくらい摩耗するか不明なのでとりあえずあげておいて、来年度12月が点検時期なので、その時の摩耗度で使用するかどうか判断しますが、安全対策として予算をつけていただいております。燃料費は移動図書館車の軽油代です。賃借料は入口などのマット類やトイレの芳香剤、事務機器等の賃借料で、事務機器が少し変わったために増額となっております。手数料、保険料は移動図書館車の車検が令和3年度だったため、減額となっております。諸謝金が増額しているのは、後でご説明

しますが、財団の30周年記念ということで特別に30万円、財団より予算がついています。租税公課は、財団が地方公共団体ではないので消費税の支払いが必要なため、その予算です。負担金については、今コロナ禍だからこそ全国大会がオンラインで開催されていて、参加費さえ払えば行かなくても参加できるので、参加費をつけていただいております。委託料は印刷機の保守や財団システムの保守、「こどものための夏の終わりの演奏会」の舞台技術料です。財団システム保守料が契約更新で少し安くなっているために減額となっています。以上です。

○時里会長

ご説明ありがとうございました。皆様方からご意見ありましたらお願いします。

○江口委員

2月にアンケートをされている分で、予算を組むときにこの中の意見が反映されているのか。時期的に間に合わないのだろうとは思いますが、例えば昨年度分のものが反映されているとか。なぜかというところの中に「トイレをきれいにしてほしいです」と。先ほどは衛生面の改修かなと思うのですが、昨年度のアンケートがこの予算に反映されているとかの運動性はあるのですか。

○事務局

先ほど補正予算でついたトイレの水栓の分は利用者からの要望があったので計上しております。図書費についても、なるべくつけてほしいと要望がありまして、交付金を頼ったわけですが、そちらで増額していただいております。

○江口委員

わかりました。ありがとうございます。

○事務局

今説明がありました市の方の予算、資料2の1ページ目になりますが、前年度の当初予算のところ、今年新型コロナウイルスの交付金が363万7千円ついていますよということなのですが、前年は当初ではついておりませんが、補正予算では400万ほどついております。今回は当初予算での比較なので入っておりませんが、その補正分は図書購入予算などに充てています。

○原委員

新型コロナウイルス感染症の地方創生臨時交付金というのが、まあ学校もそうなのですがコロナ予算といわれるものは、いつまで続くか分からない中で運用されていると思います。コロナの交付金が増えたからその分一般財源が減った、上積みされているだけだと思いますが、ある程度の見通しがあれば今だからこそできる、300万円くらいのお金を有効に使う方法みたいなものを何かしらこう…アンケートとは別にお考えになっているものがあれば知りたいのですが。学校も同じで、今だからできることを充実させようというのがありますがいかがでしょうか。

○事務局

いつまで続くかというのが、先が見えない分になりますので、取れる時に取っておこうというのはございます。あと、財政との協議になってまいりますので、その時の協議にならないとわからない部分が多いかなとは思いますが。財政当局のほうからも、今年コロナの交付金が付きそうだからと話がありますので、じゃあ要望しようということでやっていっております。

○八尋委員

今の意見でしたら、結局は少なくなった分が交付金であてがわれているだけです

よね。交付金がなくなった時、元々の額に財源が戻るのかと。どうなのでしょう
か。

○事務局

要望していかないといけないかなと。ただ、プラスマイナスでプラスにはなっ
ているのですね。一般財源も減ってはいますけど、その分コロナの交付金がついて
です。その減り幅を抑えるような形で要望していくという形になろうかと思
います。

○八尋委員

ほんと、大変ですよ。17人の給料とかも少ないなと思いついて見ていたのです
けど。分かりました。

○時里会長

改めて、確認させてもらってよろしいですか。令和3年度の当初予算額は、7900
万円くらいですね。で、総務管理費補助金は当初ゼロでしたが、補正予算で400万
円くらいついています。総額でいうと、8300万円くらいになるわけです。一方、令
和4年度の当初予算額は、7950万円のままで、もし交付金がないと、実質減額にな
ります。だから原委員がおっしゃったように、一般財源の予算が減額されたまま、
据え置かれたりするとですね…ちょっと危惧するところです。「委員から要望が出
ていた」と言っていたらよろしいでしょうか。心配ですから。

私ばかり話してすみませんが、2ページ目の施設管理委託料で、例の図書館シス
テムの導入と学校図書館との連携を図るとのお話があったんですが、今は連携で
きてないということですか？これが図書館と電子で繋がるという理解でいいです
か？

○事務局

令和5年度から学校の図書館システムが新しくなりますので、それに併せて図書
館システムと連携できるようにということです。

○時里会長

太宰府市内の学校図書館が中央図書館と連携ができるようになる。いい話です
ね。それは貸し借りも含めてですか。どういうことが考えられますか。

○事務局

各学校図書館で持っていない資料があると思うのですが、図書館システムをひ
とつにすることによって、一元管理でどこの図書館にどの資料がある分かるよ
うになる。そういう「どこに何がある」というのが一元管理できますので、購入費に
ついては「私がこの資料を購入するからそちらでは別の資料を購入して」という
ように図書の種類が増やせるようになる。

○時里会長

じゃあ、中央図書館を軸にして、学校図書館と話し合いとか協議会とかやりなが
ら進めていくのでしょうか。購入についてもそんな感じですか？図書の購入のしく
みについてはどうなりますか？

○事務局

そのへんは今から形を作っていくところです。

○時里会長

分かりました。まずは、いいことですよ。これは、ほかの自治体でもやって
いるのですか？

○事務局

そうですね、例えば、近隣では春日市、小郡市は進んでいてやっています。

○時里会長

新たな施策を盛り込んでらっしゃるようなので、よろしく申し上げます。ほかに
ございませんか？では事業予定の方をお願いします。

○事務局

資料3をご覧ください。令和4年度の事業となります。基本的には今までと同じ
ような事業をしますが、最初のページの下から2番目、これは後からその他でも詳
しくお話しますが、福岡県の読書推進大会を太宰府市で行います。令和4年度が
市制40周年になりますので、それを記念して太宰府市で福岡県大会を行います。一
番下にあるブックスタートについては、9月までは4か月児健診が個別健診となり
ましたので、子育て支援課の協力のもと、「こんにちは赤ちゃん訪問」で絵本を配
付する予定にしています。年度後半については、集団健診に移るかもしれないとい
う話もありますので、もし移った場合は、元の形に戻したいと思っています。2ペ
ージ目の中ほどよりちょっと下の「七夕まつり」については、昨年度はできません
でしたが、今年度は事前申込制にして行いました。令和4年度も行えるように、福
岡こども短期大学と協議をしているところです。それから、もう少し下の「子ども
のための夏の終わりの演奏会」。こちらのほうは、財団の30周年記念の冠がつく事
業になります。財団が今までためていたお金の中から30万円いただくことになって
おりまして、いつもはひまわりオーケストラという九州大学芸術工学部フィルハー
モニー管弦楽団有志のみのオーケストラですが、そこにプロの奏者を加えた形で
の大々的な演奏会をする予定になっています。最後のページ、学校支援事業のひと
つ上、幼稚園配本というのをやっていて、今までは事業として挙げていなかったの
ですが平成10年の11月より開始しております。市内に幼稚園が5園あり、配本が必
要ですか？というお尋ねをしたら4園が「必要だ」と回答しましたので、原則2週
間ごとに絵本と紙芝居をセットにして配本しております。2週間毎というのは、移
動図書館車で行っていたためですが、現在は2園については道幅の関係もあり公用
車で行っています。以上のような事業を予定しております。

○時里会長

ご説明ありがとうございました。皆様方からご意見等ございましたらお願いしま
す。

○八尋委員

ブックスタートで、9月までは個別訪問ということで、これは保健師の方が絵本
を配っていらっしゃるのですか？

○事務局

保健師さんと子育て支援課の保育士さんです。

○八尋委員

で、読んであげていらっしゃるのですか？

○事務局

いえ、色んな話をされたうえで、赤ちゃんにとって絵本って大切なものですよ、
コミュニケーションツールですよと説明して本を渡してもらっています。

○八尋委員

じゃあ、ブックスタートの意義が薄れますよね。

○事務局

それは、現状どうしようもないことで。

○八尋委員

それで、集団健診にならないと、図書館は動けないということですか？

○事務局

そうですね。おはなし会の案内とかも一緒に差し上げていて、それを見たと言っておはなし会にきてくださる方もいます。

○八尋委員

読んで聞いて、赤ちゃん達が聞いているというところでだと思のですが、個別健診のままだとそれがないってことですね。図書館自体で何かしようという考えはありませんか。赤ちゃんおはなし会くらいしかないですもんね。

○事務局

そうですね。

○穂坂委員

お父さんお母さんに読み聞かせの本のお薦めとかされてあるのですか。

○事務局

もちろん、そういう冊子も一緒に入れてあります。

○穂坂委員

それがこどもにどれだけいい影響を与えるかとか、そういうのを添えていただいて…そうすれば少しは。

○八尋委員

少しはですね。でもやっぱり読んであげたら全然違うのですよ。

○事務局

反応するのを見ていただくのが大事ということで、うちもおはなし会方式でやっていたのですけども。

○八尋委員

もらった人も「ああ、何かあれ、もらいましたね。」と言って横に置いて終わってしまう。そういうのを聞いたことがあったので。やっぱり読んで、あーおもしろいなって、親自身も見ていておもしろいなと思わないと、読んであげたいなってならないだろうなと思ったので。これはコロナの影響でこうなっていますけれど、なかなか難しいところだなと思っています。それともうひとつ、プチ・ぷちぷちは第二土曜日にやっているのですが、それは入らないのですか？

○事務局

それは、読書推進後援協力事業の中に入れておきまして、先ほど令和3年度の報告のところでは、読書推進後援協力事業で3つやりましたということで、プチ・ぷちぷちのおはなし会が入っています。来年度も報告の際はこの形でさせていただこうとは思っています。

○江口委員

今年度、子ども関係のものがかなり中止になった、まん延防止等重点措置が解除された後も学校の現場は感染者が減らないというか、断続的に感染経路がわからない状況で陽性の子どもたちが出るような状況なのです。2年経ちまして、学校の中での行事の在り方が随分変わって簡素化したり方法を変えたり、その中で決してマイナスばかりではないようなこともあったというか、先ほど言われた全国大会がオ

ンラインになって参加できるようになったというのがまさにそうかなと思うのです。こうしてみたところ、今年度計画されたことが来年度も計画されている、これは長年積み重ねてこられた結果だろうと思います。その中で方法なり感染しにくい、リスクが少ないものに差し替えたり、方法を工夫したりというような検討はされているのでしょうか。

○事務局

おはなし会とかはコロナ感染初期のころに、各地の図書館がオンラインでされたりしていたのですが、実は著作権の問題を皆さんクリアされてなくて、大変問題になったのですね。それとこの間文庫の方で講演をいただいた先生からは、オンラインのデジタルの声と直接の声はやっぱり全然違うので、直接伝えてほしいという声もいただきましたので、細々とおはなし会を続けています。

○江口委員

学校の方もここ2年間、読み聞かせが今ほぼしてないのですね。ボランティアの方はいますけど。通常であれば月に1回とか週に1回とか定期的に来ていただいて読み聞かせしてもらっていたのですよ。ところがやはり著作権の問題とか、やはり子どもが主流になってきているので、こちらもおもしろくないというような状況がありまして。今お話を聞きながら、読み聞かせという分野はやはり難しいのだなと改めて思いました。

○時里会長

そうですね。オンラインはやはり著作権問題が難しいですね。

○八尋委員

学校の中だけではだめなのですか？

○原委員

外部の方を入れるということが、感染経路を断つためにご遠慮いただいている、来ていただきたい気持ちはあるのですが、なかなかボランティアの方に来ていただけない状況です。今お話を聞きながら、まず中学生、小学生だったら6年生、上級生が下級生に読み聞かせをおこなう、それをするために、オンラインで読み聞かせの極意というか、図書委員会とかそんな子たちにご指南いただくとか。上手ではないかもしれませんが、子どもたちが子どもたちにとということであれば、外部の人ではないのでできるかなあと。ただ、異学年交流になってしまうのでかなりの制約はあるので、例えば、大きな部屋で2,3人リレーをしながら本を読んであげるくらいはできないかなと今考えていました。図書のボランティアの方たちに委員会の子どもたちが習うみたいな…そういうのができないかなと思ったところです。

○八尋委員

読書リーダー養成講座が前あったのですよね。それで5,6年生がやっていて。でも違う学年に行くっていうのが、また制限があるのですね。

○原委員

異学年交流をやめようとかですね。お外で遊ぶ時や部活動も「今日は1年生の日」、「今日は2年生の日」とかですね。

○八尋委員

きびしいですね。給食の時間黙食なので、放送を使って耳で聞くラジオみたいな感じで昔話を読んであげるという活動をしている学校もありますよ。放送室までだったらボランティアの人も入っていいですよという感じで。10分間だけの黙食だけ

ら耳で聞いてもらって。

○原委員

ありがとうございます。黙食時間ってストレスになるのですよ。シーンとなつて、しかも寒い中でシーンとして。美味しくもなんともないみたいな。つつい音楽だけかけている感じだったのですが、今みたいな、お話を聞きながらというのもいいなと思いました。

○時里会長

制約が色々ありますけど、その中でも工夫をされているのを感じました。そのほか、ご質問ございませんか。

幼稚園配本は市立の幼稚園ということになるのでしょうか。

○事務局

市内の幼稚園は市立ではなくて私立になります。太宰府市には私立の幼稚園しかないのです。5園あります。最初に行く時に打診して、1園は「うちにはたくさんあるからいいです」と言われたので、他のところに行かせていただいております。なるべく子どもたちの近くに本を置いて、紙芝居も季節のものを入れながらですね。保育園は図書館に来ていただいたり、移動図書館が保育園に近いところに行っていたりします。

○時里会長

ほかにごございませんか。それでは、ご用意していた協議事項については終了いたします。

その他

(1) 図書館利用者アンケートについて

令和2年度に指定管理者が実施した図書館利用者アンケートの結果（詳細）を事務局より報告。

(2) 令和4年度福岡県読書推進大会について

令和4年度の福岡県読書推進大会が太宰府市で開催されることについて事務局より報告。